

吸油量測定装置「アブソプトメータ」を導入しました

東レテクノでは粉体の吸油量測定法である練り合わせ法*に加え、「アブソプトメータ」での測定**が可能となりました。
カーボンブラック、シリカ、アルミナ、顔料など幅広い試料に対応できます。

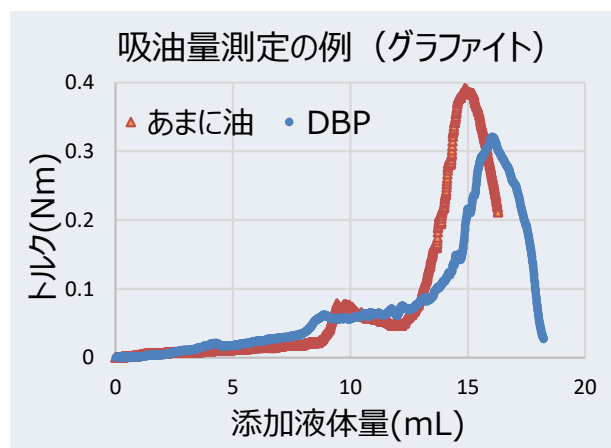
* JIS K 5101-13(2004)

** JIS K 6217-4(2017)、ASTM D 2414、ASTM D 3493、ASTM D6854

アブソプトメータによる吸油量測定の概要

回転翼によりかき混ぜられている粉体に液体を添加し、トルクの変化と添加液体量を測定します。

様々な粉体と液体(DBP、あまに油等)の組み合わせで測定できます。
練り合わせ法と比べ、安定した測定値が得られます。



吸油量測定の活用事例

アルミナ・セラミックス	焼結性・粒子凝集の評価、粉末成形性の改善
顔料・塗料	顔料の分散性・混練性の評価、粘度制御、色材の安定性向上
電池材料	スラリー粘度・導電性材料の評価、電極形成の支援
カーボンブラック	カーボン構造・ストラクチャー評価、凝集体解析、導電性の最適化
化粧品	粉体の皮脂吸着性・分散性、肌触りの改善
医薬品	粉体の流動性・混合性、製剤設計支援